

【東京藝術大学×SOMPOケア】産学連携プロジェクト 『アーティスト・イン・そんぽの家S 王子神谷』の開始

国立大学法人東京藝術大学（学長：澤 和樹、以下、「東京藝大」）とSOMPOケア株式会社（代表取締役社長：遠藤 健、以下、「SOMPOケア」）は、2018年5月からアーティストがSOMPOケアの運営するサービス付き高齢者向け住宅に住み、住宅のご利用者さまとともに生活しながらアートを通じて交流することで、新しいコミュニティや関係性を構築し、ご利用者さまの生活の質の向上や地域交流を活性化させることを目的に、『アーティスト・イン・そんぽの家S 王子神谷』を開始しましたのでお知らせします。

1. 背景・目的

SOMPOホールディングス株式会社は、超高齢社会におけるさまざまな課題を解決することを目的に、各大学機関や専門機関と連携しています。各機関との連携は、専門性の高い研究ノウハウとの融合による現場の課題解決と介護事業の成長を通じて、産業と社会の発展に貢献することを目指しています。

その一つとして東京藝大との連携では、「アート×福祉」の視点から、多様性あるアートの価値観を社会に活かすことで、多様な人々が共生できる社会環境づくりができる担い手を育成する「Diversity on the Arts Project（愛称：DOOR）」（ディレクタ：日比野 克彦 美術学部長）を2017年4月から実施しています。『アーティスト・イン・そんぽの家S 王子神谷』では、「DOOR」の修了生であるアーティストがサービス付き高齢者向け住宅に居住します。

2. 概要

(1) プロジェクト名 : アーティスト・イン・そんぽの家S 王子神谷

(2) 対象事業所

SOMPOケア そんぽの家S 王子神谷（サービス付き高齢者向け住宅）

東京都足立区新田一丁目3番19号 TEL : 03-5902-3791

ウェブサイト : <https://www.sompocare.com/service/home/satsuki/H000327/>

(3) 期間 : 2018年5月～2019年3月（予定）

(4) 滞在人数 : 2名

(5) プロジェクトの目的

「DOOR」で学んだ修了生（アーティスト）との関わり、出来事、共同作業および出会いを通じて交わされる人と人とのつながりの体験を通して、ご利用者さまの生活の質の向上や地域交流を目指します。

(6) 参加アーティスト



横田紗世（よこた さよ）

2017年度DOOR修了。介護福祉士として勤務する傍ら、要介護高齢者と若い世代、介護が必要でない人との関わりを生み出すコミュニティづくりを目指している。

今回はコミュニケーションのコーディネーターとして、ご利用者さまに施設や居室をこれまで以上に自分の居場所／家だと感じてもらえるような場づくり、関係性づくりを行なう。



垣内晴（かきうち はる）

東京藝術大学美術学部先端芸術表現科4年生、2017年度DOOR修了。

家や学校、町などの自分の居る場所において、そこにいる人々、家族、友人らとともに言葉だけでないコミュニケーションを考える作品を制作する。参加するにあたり、行為や振る舞いによって起こるお互いの心身の変化、揺らぎに対して、丁寧に向きあうことを大切にしたいと考えている。

3. 今後について

SOMPOケアは今後もアーティストの活動を支援し、ご利用者さまの生活の質の向上や地域交流を通じて、地域に寄り添った介護事業者を目指します。



「そんぼの家S 王子神谷」にてご利用者さまと交流するアーティスト

以上